

報道関係者各位

令和2年2月10日
STOP 感染症 2020 戦略会議
一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会

〈国民向け緊急提言〉

新型肺炎対策「STOP 感染症・7つの約束」

を発表しました。

「STOP 感染症 2020 戦略会議」（以下、戦略会議、座長：賀来満夫 東北医科薬科大学特任教授、事務局：一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会）では、今般の新型コロナウイルス感染症対策にかかる緊急提言「新型肺炎対策『STOP 感染症・7つの約束』を、本日の記者会見（14時開催・於：東京都千代田区内幸町1-3-1「TKP新橋カンファレンスセンター」）で発表しました。

当戦略会議は、国土強靱化の観点から、地震や台風、水害など災害発生時の感染症対策や平時からの備えを検討し、政府等に政策提案を行うことを目的として、昨年12月に発足しました。海外から多くの人々が訪れ、国際的マスギャザリングとなる東京オリンピック・パラリンピックイヤーを、感染症対策の重要年度として位置づけており、委員には、感染症、災害医療、公衆衛生をはじめ、医学、歯学、薬学、看護学等、各分野の第一線で活躍する専門有識者が数多く名を連ねています。

この度の新型コロナウイルス感染症については、既に多様な情報が、さまざまなルートで飛び交っています。こうした中、当戦略会議としては、専門家による正しい情報を、わかりやすいメッセージの形に整理し、国民に向けて広く発信することが何より重要だと考え、とりまとめを行ったものです。

この「STOP 感染症・7つの約束」を広く発信していただけますようお願い申し上げます。

ます。

【新型コロナウイルス対策「STOP 感染症・7つの約束」】

- 約束1 正しく恐れる。
- 約束2 ウイルスや菌の顔と性格を知る。
- 約束3 “STOP 感染「新生活習慣」”をつくる。
- 約束4 最新の対策技術にも目を向け情報収集する。
- 約束5 喉元過ぎても熱さを忘れない。
- 約束6 新型コロナウイルス以外の感染症にも目を向ける。
- 約束7 防災用品だけでなく、感染症対策用品も備蓄を!

「STOP 感染症・7つの約束」では、政府から感染症対策として発信されている、正しい手洗い、咳エチケットなどに加え、手洗い場所が近くにない場合の「ウェットティッシュの携帯や環境消毒の重要性」「消毒剤の持続除菌性能という新しい考え方の重要性」「免疫力を向上させる酪酸菌、乳酸菌などプロバイオティクス摂取の重要性」「口腔ケアの重要性」「感染症備蓄という考え方」など、最新の知見に基づく感染症予防に向けた新生活習慣を提案しています。

さらに、アメリカで今年の冬に2万人以上が亡くなっており、日本でも昨年3325人が亡くなっているインフルエンザを含め、史上空前のマスクギャザリングが予想される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、蚊媒介感染によるデング熱など、「新型コロナウイルス以外の感染症」にも注意を呼びかけています。

そして、“喉元過ぎても熱さを忘れず”と、新型コロナウイルスが仮に収束し、メディアの報道熱が冷めても、感染症対策の新生活習慣を続けて欲しいと呼びかけています。

「

【記者会見の登壇者】

STOP 感染症 2020 戦略会議

賀来 満夫 座長（東北医科薬科大学 医学部感染症学教室 特任教授）

國島 広之 委員（聖マリアンナ医科大学 感染症学講座 教授）

一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会（事務局）

金谷 年展（レジリエンスジャパン総研所長）

【参考：一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会について】

当協議会は、国土強靱化基本法と同基本計画に基づく産学官民連携をミッションにしています。平成26年の設立以来、1) 国土強靱化施策に関する民間の立場からの提言、2) 内閣官房国土強靱化推進室のガイドラインに基づく「レジリエンス認証」の普及と制度運営、3) 国土強靱化に資する優れた取り組みを顕彰・紹介する活動などを行っている団体です。

ホームページ <http://www.resilience-jp.biz/>

【お問い合わせ】

一般財団法人レジリエンスジャパン推進協議会

[担当者] 金谷年展

[TEL] 070-4566-5811

[メールアドレス] kanaya0806@icloud.com